

現代が忘れた愛と感動を描いて
いま、日本中の親と子に贈る名作…



次郎物語



加藤 剛・高橋恵子/伊勢将人・永島敏行・中谷一郎・高松英郎・井川比佐志・芦田伸介・大塚道子・笠 ゆう子・山岡久乃・泉 ピン子
監督●森川時久/原作●下村湖人(角川文庫・新潮文庫版)/脚本●井手雅人/撮影●山崎善弘/音楽●さだまさし/西友(西武セゾングループ)・学研・キネマ東京●提携作品/荒木事務所●設計/東宝●配給
映画「次郎物語」関連出版物(発行・学研)●学研まんが名作シリーズ「次郎物語」/映画ストーリー「次郎物語」

東宝(邦画)系劇場にて 7月4日全国一斉ロードショー

西友(セゾングループ)・学研・キネマ東京提携作品

■かいせつ

子供の教育をとりまく様々な問題は深刻さを増し、全国民最大の関心事です。「次郎物語」には、その解決のヒントとなる親と子の心の触れ合い、通い合いがきめ細かく描かれています。

西友、学研、キネマ東京、荒木事務所は、それぞれ「人間の約束」、「南極物語」、「ビルマの堅琴」、「東京裁判」などの問題作、ヒット作の製作に関わってきました。その四社が提携製作し、スタッフには「若者たち」の森川時久監督を中心に日本映画の良心が、キャストには高好感度の演技派が選ばれました。そして音楽は、さだまさしが担当します。62年7月、全国東宝系劇場で公開されます。

■あらずじ

時は昭和の初め。次郎は母の体が弱かったので、生まれるとすぐお浜の家に預けられ、お浜の子供たちと一緒に自由に育てられていた。母お民も元気になり、次郎を実家に引きとろうとしたが、お浜になつていっている次郎はつれ戻されたが、逃げ帰るのだった。

次郎の実家・本田家は、古くから続いた由緒正しい家柄で、士族の格式を守り、子供たちにつれ戻された次郎は、それまで自然の中で伸び伸びと育てられていたから、本田家の家風に息もつまりそうな思いの毎日が始まる。貧しいけれども自由で楽しかったお浜の家、大事にしてくれた乳母のお浜を恋しがる次郎に何かにつけて辛くあたるのは、古い格式ばかりを大事にする祖母のおこと。体の丈夫でない母親・お民は、やんちゃな次郎と厳しいおことの間でおろおろするばかり。遠く離れた役所に勤める父親・俊亮は、週に一度しか家に帰れなかったが、やんちゃな次郎も、しつけの良い兄や弟と分けへだてなく可愛がってくれた。

■プロフィール

次郎は十才になった。相変わらず家庭に馴染まない彼は、お民の実家・正木家や同級生の竜一の家へ行くことでさびしさを紛らわせていた。正木家の雇人・喜さぶは次郎を弟のようにかばってくれる。その喜さぶと竜一の姉・春子とは相愛の仲だったが喜さぶ(喜三郎)の家の没落で身分が変り、春子は遠い東京へ嫁入りすることになった。幼い次郎にもそんな喜さぶの心の苦しみが伝わるのだった。

ある日次郎は、兄と弟が餓鬼大将にいじめられているのを見て、兄弟を助けようと逆に餓鬼大将に怪我をさせてしまう。そのことで祖母や母に責められる次郎の味方となり、「正しい」と思った喧嘩は命がけでやれ」と説くのは父だった。

次郎がようやく本田家の毎日に馴染む頃から、本田家にはよくないことが続くようになった。次郎を可愛がってくれた祖父の死。その看病疲れから母お民も発病。そしてある日、本田家の破産を次郎も知らされた。一家は町に移り慣れない商売を始めたが、次郎は母の実家で母の看病をすることになった。同じ頃、乳母お浜の一家も夜逃げ同然に故郷を離れ、消息が知れなくなっていた。

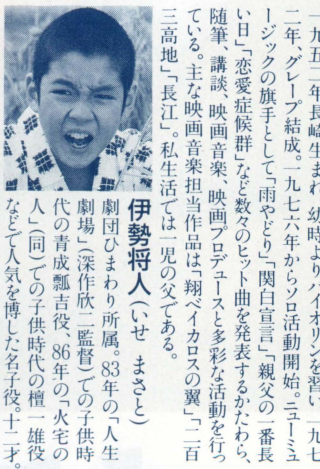
お民の病は重かった。一生懸命看病する次郎にお民も次第にうちとけ、二人の間にはようやく母と子の愛情が通じ合うのだった。

真夏——。浮立の踊りに参加する次郎の衣裳を縫い上げ、送り出したお民は、知らせを聞いて炭鉱から駆けつけたお浜に、これまでの非礼を詫びた。へ子供って、ただただ可愛がってやりさえすれば、よかとねえ……。

浮立連の中で踊っていた次郎は、母の容態急変の知らせに枕許に急いだ。だがお民の顔は既に白布で覆われていた——。ようやく通い合った母と子の心だったのに。溢れる涙をこらえる次郎の目に、窓の外の堀割に咲いた一輪の蓮の花が、母の心のように白く清らかに光って映った……。

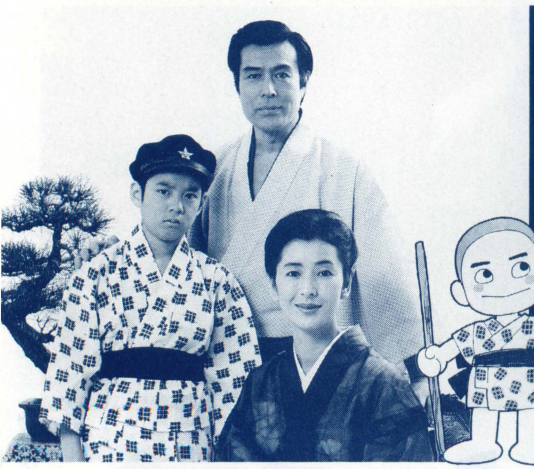
■スタッフ

製作委員会代表……堤清人
製作……古岡秀
企画……高木正昭
プロデューサー……高橋也
原作……藤野野矢
脚本……井川時久
監督……森川時久
撮影……山崎善弘
照明……加藤松作
録音……木村英二
美術……金田克美
編集……中島博行
助監督……中島博行
製作担当……中島博行
音楽……さだまさし



伊勢将人(いせ まさと) 劇団ひまわり所属。83年の「人生劇場(深作欣二監督)の子供時代の青楓吉役、86年の「火宅の人」(同ての子供時代の檀一雄役)などで人気を博した名子役。十二才

次郎物語



■キャスト
俊亮(父)……加藤剛
お民(母)……高橋恵子
次郎(10歳)……伊勢将人
次郎(6歳)……樋口剛嗣
喜さぶ……永島敏行
東医師……中谷一彰
宗太(母方の祖父)……井川時久
おと(お浜の夫)……大塚英二
恭亮(祖父)……芦田伸介
おこと(祖母)……山田道子
おな(東医師の娘)……菅ゆづり
おな(母方の祖母)……岡久乃
お浜(乳母)……泉ピン子

株式会社西友(西武セゾングループ)
株式会社学研
株式会社キネマ東京
株式会社荒木事務所
東宝株式会社

製作委員会代表……堤清人
製作……古岡秀
企画……高木正昭
プロデューサー……高橋也
原作……藤野野矢
脚本……井川時久
監督……森川時久
撮影……山崎善弘
照明……加藤松作
録音……木村英二
美術……金田克美
編集……中島博行
助監督……中島博行
製作担当……中島博行
音楽……さだまさし

角川文庫 新潮文庫 次郎物語 全五巻より

映画「次郎物語」関連出版物(発行・学研)
・学研まんが名作シリーズ「次郎物語」
・映画ストーリー「次郎物語」